

国語 解答 静岡大学 人文社会科学部（経済学科）
1 現代文

問一 ア 衝撃 イ 築 ウ 誘惑 エ 放棄 オ 絡

問二 事実の持つ深さや豊かさを伝えることで、様々な社会的課題の解決に向けて、議論の場を提供するという役割。（五〇字）

問三 視聴者は偏見であっても自らの感情に訴えるテレビメディアの情報だけに寄り添いがちであり、感情に訴える要素が多いテレビメディアも視聴者の感情に寄り添おうとする誘惑に陥りやすいから。（八八字）

問四 経済格差の拡大によって不公平感が高まり、社会の分断が進行しつつある状況の中で、メディアの受け手は、固有の情報空間の中だけで対話を行い、より積極的に自らの感情にかなったものだけを情報の中から選ぶようになり、そうした情報をより多く提供してくれるメディアだけに接するようになるから。（二二八字）

問五 客観的な事実や真実よりも感情的に共感できる情報だけを選択する傾向が強まり、異質な他者や多様な意見を無視することで社会の分断が広がりつつあるポスト真実の時代を乗り越えるために、ジャーナリズムは多角的な情報を提示していく必要があると筆者は主張している。たしかに筆者が言うようにジャーナリズムのあり方も重要である。しかし、情報を受け止める私たちには客観的な根拠のない情報に惑わされてしまう面があることにも留意すべきである。情報の受け手である私たちが、ジャーナリズムが発信する情報を含め、さまざまな情報を客観的にとらえ、それが真実であるかどうかを見極める力であるリテラシーを鍛えていく必要もあるのではないか。（三〇〇字）

経済効率を重視し、全体の幸福の最大化をめざす功利主義者は高所得者への課税という政策によって富裕者の富を貧困者に再分配することを主張する。これに対し、人間の自由の名において、他人が同じことをする権利を尊重する限り、自由を制限するべきでないと考える自由至上主義者は、自分の金を自分の好きなように使う自由は保証されるべきであり、自らが富を獲得しようとしめない者の保護、富の偏在を否定し、人間の平等を訴える道徳の強制、課税による富の再分配を法律や政策によってなすべきでないと主張する。

法律や政策による規制を否定する自由至上主義者は、臓器の売買によって自らの身体や生命が危険にさらされることや、身体の一部である臓器を物やサービスと同じように売買すべきではないという道徳を法律によって規制することに反対する。自らが所有するものを使って自らが望むいかなることも行うことが許されると考える自由至上主義者は、臓器は個人の所有物であり、臓器の売買について、自分の金によって他人の臓器を買ったり、自分の臓器を売って自分の望む金を手に入れたりする権利は認められるべきであると考ええる。（四七八字）

○功利主義者の見解

経済的不平等について、功利主義者は、富裕者に労働意欲を減退させない限りの課税をし、一人でも多くの貧困者を助けるために富の再分配をすべきだとする。それに対して、自由至上主義者は、富裕者への課税を不公正とし、市場経済での選択の結果得た金を彼が自由に使う基本的権利を尊重すべきだとする。

最大多数の最大幸福を求める功利主義の立場から臓器売買を考えたときに、貧困者が、臓器移植で助かる病人に、臓器を売ってお金を得る場合、売った人と買った人との欲求がそれぞれ満たされるから、一見すると臓器売買は肯定されるように思われる。しかし、臓器を売った人が、お金を得たことによる幸福を手に入れても、臓器を失ったことでその後の生活において予想される健康へのリスクを懸念したときに、その幸福が低減するたため、臓器売買は功利主義に反するのではないだろうか。つまり、臓器を売った人が、売ること得られる幸福を上回る不幸を背負うことになるのである。このように、功利主義者は臓器売買を容認できない行為だと考える。（四三七字）